

ポップでしようかいしよう
「大造じいさんとガン」

椋むく 鳩はと十じゅう

めあて

場面分けをして、場面に名前をつけよう。

四つの場面に名前を付けよう。

一	一羽のガンをつかまえたつりばりの計略
二	残雪にしてやられたたにしの計略
三	また残雪にしてやられたおとりのガンの計略
四	残雪をうれしそうに見送る大造じいさん

学習したこと

- ・ 出来事で場面が分かれていること
- ・ 三の場面で、大造じいさんの気持ちが変わっていること

3 / 9 時間目 指導略案 使用するワークシート・・・ポップシート
活動のねらい

「大造じいさんとガン」の全文を読ませ、物語の大体をとらえさせる。

1 場面分けをして、物語の大体の内容をとらえる。

場面分けをする。

場面については、教科書であらかじめ四場面に分けられているので、確認させる程度にとどめる。

* 場面分けを教科書通りではなく、次のように分けることもできます。児童の実態に合わせて使い分けてよいと思います。

- 「物語の設定の場面」(75ページ～76ページ1行目)
- 「出来事の展開場面」(78ページ4行目～82ページ10行目)
- 「クライマックス場面」(82ページ11行目～87ページ3行目)
- 「その後」の場面 (87ページ)

【発問】分けた場面の内容が分かるような名前を付けましょう。

場面に名前を付ける。

場面の名前は大造じいさんの計略(作戦)を中心に考えさせる。

場面の名前を考えていく際、大造じいさんの気持ちが変わった場面についても考えさせる。

2 ポップシートに題名と作者の名前を書き入れる。

* ポップシートの大きさは、図書館に置ける程度のサイズ(八つ切り画用紙の半分程度)がいいと思います。

3 本時を振り返り、学習したことをまとめ、次時は、一の場面の出来事について読み取っていくことを知る。

評価 各場面を読み、内容を考えて名前を付けることができている。